

「新たなる創造 えんげい王国 亘理・名取」

亘理農業改良普及センターの取り組み（令和3年度普及指導計画）

資料3

R3.1 亘理農業改良普及センター作成

第3期みやぎ食と農の県民条例基本計画

仙台地方振興指針

普及事業の指針・方針

協同農業普及事業の運営に関する指針(国指針)

- 1 担い手の育成・確保
- 2 スマート農業の実践等による生産・流通現場の技術革新・生産基盤の強化
- 3 気候変動への対応等環境対策の推進
- 4 食料の安定供給の確保
- 5 農村の振興
- 6 東日本大震災からの復興復興と大規模自然災害等への対応

協同農業普及事業の実施に関する方針(県実施方針)

(計画期間: R3~R7)

- 1 みやぎの農業を担う次代の人材育成と革新技術の活用等による生産基盤の強化
- 2 時代のニーズに対応した農畜産物の安定供給
- 3 多彩な「なりわい」の創出や多様な人材・機関との連携による持続可能な農業・農村の構築

亘理地域普及指導基本方針(地域方針)

(計画期間: R3~R7)

- 1 生産技術の高度化による競争力の高い園芸産地の確立
- 2 次世代につなぐ収益性の高い水田農業・畜産経営の確立
- 3 地域農業を支える多様な人材の確保・育成
- 4 農村地域の資源活用と持続可能な農業・農村の構築

普及指導方針(年度方針)

- 令和3年度重点活動項目 -

- (1) 生産技術の高度化による競争力の高い園芸産地の確立
- (2) 次世代につなぐ収益性の高い水田農業・畜産経営の確立
- (3) 地域農業を支える多様な人材の確保・育成
- (4) 農村地域の資源活用と持続可能な農業・農村の構築

(1) 生産技術の高度化による競争力の高い園芸産地の確立
県内一の園芸産地の維持・発展を目指し、野菜、花き、果樹を中心とした園芸品目生産の増大に向け、先進的技術の導入や新品目等の導入等による競争力の高い産地確立に向け、各市町、農業団体、試験研究機関等の関係機関と連携しながら普及活動を展開していく。

- ① 野菜の生産技術の高度化による産地力強化
 - ② 果樹の省力化技術の導入による産地維持と新規導入品目の産地育成
 - ③ 花きの生産技術向上とブランド化推進による産地力強化
- (2) 次世代につなぐ収益性の高い水田農業・畜産経営の確立
競争力の高い農業生産基盤を実現するため、農地中間管理事業等を活用した担い手への農地の集積・集約化を推進するとともに、水田フル活用による収益性の高い水田農業の展開や、畜産経営の体質強化に向けた支援を行う。
- ① 農地集積・集約化による地域農業再編支援
 - ② 収益性の高い水田農業の展開支援
 - ③ 耕畜連携を生かした畜産の体質強化

- (3) 地域農業を支える多様な人材の確保・育成
各市町担い手育成総合支援協議会等と連携して、産地の発展と地域農業の活性化を担う意欲ある担い手の育成を推進する。
- ① 意欲ある農業経営体の育成と経営の安定化・高度化支援
 - ② 競争力のあるアグリビジネスの経営体の支援
 - ③ 新規就農者等の確保・育成と多様な人材の活躍支援
 - ④ 農村地域の担い手の育成

- (4) 農村地域の資源活用と持続可能な農業・農村の構築
地域資源を活かした「なりわい」の創出による雇用機会の拡大や所得の確保に向けた取組みを行うとともに、「豊かな食」の生産基地としての役割を果たすため耕作放棄地対策や、有害鳥獣害対策等を講じ、農業・農村の地域の持続的発展を推進する。
- ① 地域資源を活用した多様ななりわい(ビジネス)の創出による地域振興
 - ② 食と農への理解促進と安全・安心な農産物生産の取組み支援
 - ③ 環境と調和した持続可能な農業生産の取組み支援
 - ④ 遊休農地(耕作放棄地)の解消と有害鳥獣害対策の取組み支援
 - ⑤ 自然災害に負けない強い農業・農村づくりに向けた支援

令和3年度普及指導計画

プロジェクト課題

1 次代につなぐ大規模法人の生産体制整備による経営の安定化(継続課題) <「中間管理事業」「スマート農業」関連課題>

- 農業生産管理システムの活用や栽培品目の収量向上による経営改善、法人の次世代を担う人材の育成・定着のための体制整備をすすめ、持続性のあるモデル的な経営体となる。
- (農)玉浦中部ファーム(岩沼市)
- 計画期間: H31~R3
- ① 農作業データを活用した農作業管理体制の確立支援
- ② 「経営継承計画」の策定と法人内合意の支援
- ③ 新品目の作付け及び水稲・大豆の新技術の導入・定着の支援
- 目標: 売上高の増加率 100%(H30) → 102%(H31) → 105%(R2) → 107%(R3)

2 新品種「にこにこベリー」導入定着によるいちごの生産安定(継続課題) <「園芸振興」関連課題>

- 新品種「にこにこベリー」の品種特性を活かして、クリスマスの需要期に向けた安定生産と導入定着を図り、県産いちごの主力品種とする。
- JAみやぎ亘理いちご部会「にこにこベリー」生産者21人(管内いちご生産者及びいちご生産法人(亘理町, 山元町))
- 計画期間: R2~R3
- ① 適切な育苗管理と中休みの少ない栽培管理への適正化支援
- ② 育苗・中休み対策を含めた資料作成と計画策定支援
- 目標: 「にこにこベリー」の年内出荷量の増加率 100%(H31) → 125%(R2) → 150%(R3)

3 「シャインマスカット」の栽培技術力の向上による生産拡大(継続課題) <「園芸振興」関連課題>

- 「シャインマスカット」は、栽培面積が少なく需要に応えられていない状況のため、新技術(短小せん定栽培や省力化器具の活用等)の習得により、収量安定や品質向上を図る。
- 管内ぶどう生産者4人、(農)志賀(岩沼市, 亘理町, 山元町)
- 計画期間: R2~R3
- ① シャインマスカット栽培者への栽培技術支援
- ② 組織化に向けた意向確認と設立支援
- 目標: 直売所の販売増加率 100%(H31) → 105%(R2) → 110%(R3)

4 新たな技術・販売手法の導入によるカーネーション産地の活性化(新規課題) <「園芸振興」関連課題>

- 栽培管理技術の改善により、生産性の向上が図られ、実需者ニーズに対応した産地活動が実現する
- 名取市カーネーション生産者17人(名取市)
- 計画期間: R3~R4
- ① 新技術導入等の栽培技術支援
- ② 産地表示販売の実証・導入支援
- 目標: 新たな生産技術の導入農家数 3戸(R2) → 5戸(R3) → 8戸(R4)

普及センター活動(重点)

- いちごの生産安定支援
対象: いちご生産者
- 大規模露地野菜法人の経営安定支援
対象: 沿岸部の露地野菜栽培法人
- 水稲直播栽培技術の生産性向上支援
対象: 水稲直播栽培を導入または
- 新規就農者の確保・育成支援
対象: 新規就農希望者, 新規就農者

普及センター活動(一般)

- 収益性や競争力を高める農畜産物の生産
- 経営管理能力の向上
- 農畜産物の安全性確保の推進(放射物質検査含む)
- 環境保全型農業の推進
- 農業・農村の担い手確保と育成
- 農村資源の保全と活用
- 消費者と農業者の相互理解の推進
- 情報発信等

調査研究課題

- プロジェクト課題等に関連して、現地での調査研究を普及指導員各人が調査内容を設定し、課題解決の糸口を見いだす活動。

